



やきものになる土

絵の具になる土

染めものを使う土

お米を育てる土

日本の土が集まる

壁になる土

化粧品になる土

刀づくりに使う土

光るどろだんご全国大会  
10回記念企画

[0]

つち み ほん ちよう  
「土」見本帖

⌘ ○ U P C Q B ○ ○ K ○ f ⌘ ⌘ i L ⌘

July 1 - November 26, 2017 National "Shiny Clay Balls" Competition 10th Anniversary Exhibition and Workshops

2017年7月1日(土)~11月26日(日)

開館時間：10:00am-5:00pm (入館は 4:30pm まで)

休館日：毎週水曜日(祝日の場合は開館)

共通入館料：一般 600 円、高・大学生 400 円、小・中学生 200 円(税込、各種割引あり)

 INAX ライブミュージアム

〒479-8586 愛知県常滑市奥栄町1-130  
TEL. 0569-34-8282 FAX. 0569-34-8283  
<http://www1.lixil.co.jp/ilm/>

企画◆INAX ライブミュージアム企画委員会/展示デザイン◆中原崇志 (DENBAK-FANO DESIGN)、幡中仁 (eleven 一級建築士事務所)  
会場グラフィック◆田部井美奈 (田部井美奈デザイン)/コーディネーター◆立花嘉乃

PART OF LIXIL

地球上のあらゆる生き物は土によって育まれています。植物はその栄養で育ち、やがて動物たちの食物となります。人類最初の絵は、土の絵の具で描かれました。1万5000年前に誕生した縄文土器は、土を焼いてつくられました。土は布を染め、家の壁となり、仏像や刀など金属を形づくる型にもなりました。土は命を育み、生きるために必要なあらゆるものをつくり出すことができます。とても身近な地球の恵みです。日ごろだれもが目にしていない地表面の土から、姿かたちを変えて私たちの身の周りがある土まで、様々な地域や種類の土、約300点を一堂に集め展示します。「土」の見本帖をひも解き、色や粒子の様子など、その個性を間近に観察してみてください。

土はいまでも、目に見えないところで大活躍しています。忘れていた、土と人との関係に思いを馳せながら、素材としての力を再発見し、その魅力をお楽しみください。

The earth's myriad creatures are fed by the soil. Plants grow, obtaining nourishment from the soil, and become food for animals. The first paintings by human beings were rendered using soil pigments. Jomon pottery vessels created 15,000 years ago were made by firing clay soil. Soil has been used to dye fabrics, make walls for houses, and even in the forging of metal for Buddhist statues and swords. Soil, something exceedingly common, is the blessed abundance of the earth; soil enables life to grow and produces everything needed for living. Gathered and displayed here are different kinds of soils from different regions—some 300 in all, ranging from soils of the ground we commonly see around us to soils used in our daily lives in altered forms. We invite you to peruse this Sourcebook of Soils and observe the different soils from closeup. You will see how unique each soil is in its color and the character of its particles.

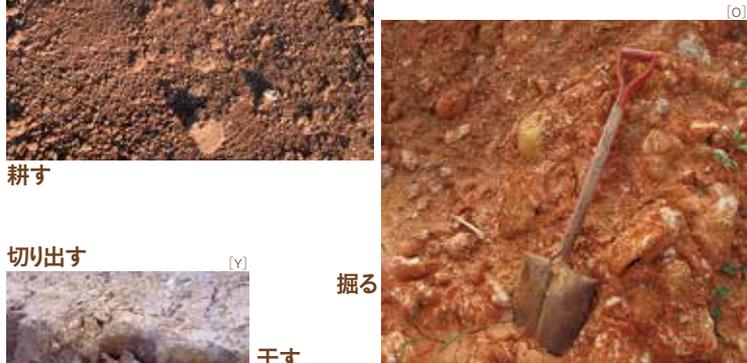
Soil still today serves us in countless unseen ways. We hope you will ponder the often-forgotten relationship between soil and human beings, rediscover its power as a material, and enjoy its beauty and fascination.



踏む (S) 塗る (K)



こねる (O) 切る (Y)



耕す (Y) 振る (Y) 干す (Y)



チラシデザイン：宗利淳一 写真：大川裕弘 [O]、梶原敏英 [K]、木村羊一 [Y]、佐々木光 [S]

# 「土」見本帖

ちち み ほん ちよう

Sourcebook of Soils

## 光るどろだんご全国大会 10回記念企画

INAX ライブミュージアムは、2006年のグランドオープン以来、ユニークで多様な活動を通して土とやきものの魅力を伝えてきました。なかでも、やきもの用の粘土を削り、色をつけ、磨いて光る球体に仕上げる「光るどろだんごづくり」体験教室は、土の不思議やものづくりの楽しさが味わえると人気を集め、子どもから大人まで多くの来館者が体験しています。そして「光るどろだんごづくり」の腕を競い合う「光るどろだんご全国大会」は、今秋で10回目を迎えます。これを記念し、企画展「土」見本帖をはじめとする、土の魅力に迫る展示やワークショップ、イベントを毎月開催します。土について改めて考え、その魅力や不思議に気づき、身近に感じていただく機会となります。ご参加ください。

### どろだんご研究所 トイレの土で、どろだんご!?

いろんな土を見て、触って、どろだんごをつくってみよう!

開催日：7月16日(日)  
 時間：14:00～15:30  
 会場：「土・どろんこ館」企画展示室(「土」見本帖 展示会場内)  
 対象：小学生以上 ※低学年のお子さまは、保護者(1名のみ)と一緒にご参加ください。  
 定員：15名、予約制  
 参加費：500円  
 所長：塩瀬隆之(京都大学総合博物館准教授)  
 京都大学工学部精密工学科卒業、同大学院修了。博士(工学)。神戸大学、京都大学、経済産業省を経て現職。ATR知能ロボティクス研究所、慶應義塾大学SFC研究所、客員研究員等。日本科学未来館「おや?」つちひろば 総合監修者。NHK Eテレ「カガクノミカタ」番組制作委員。

### どろの遊園地

どろ田に入っておもいきり土と遊ぼう

開催日：8月11日(金・祝)、12日(土)、13日(日)  
 時間：各日とも 午前の部 10:30～12:00  
 \*受付時間(10:15～11:00)  
 午後の部 13:30～15:00  
 \*受付時間(13:15～14:00)  
 会場：「土・どろんこ館」前 どろんこ広場  
 定員：50名(各回)、予約制  
 参加費：500円



### 光るどろだんご全国大会 2017 地区予選大会

11月26日(日)に「土・どろんこ館」で開催する「光るどろだんご全国大会 2017」の出場選手を決める地区予選大会を開催します。地区予選大会についての詳細やエントリーは、INAX ライブミュージアム ホームページ 内特設サイト(7月1日開設予定)をご覧ください。

### 9月、10月にも土を楽しむワークショップを開催します。

各企画の詳細については、順次 INAX ライブミュージアムのホームページや、LIXIL 文化活動 Facebook で公開していきます。  
 INAX ライブミュージアム 公式ホームページ <http://www1.lixil.co.jp/ilm/>  
 LIXIL 文化活動 Facebook <https://www.facebook.com/LIXIL.culture/>

### INAX ライブミュージアムへのアクセス



**バス**  
 → 名鉄線「常滑駅」または中部国際空港より  
 知多バス「知多半田駅」行き  
 「INAXライブミュージアム前」下車  
 徒歩2分

**お車(乗用車・バス駐車場完備)**  
 → 名鉄線「常滑駅」より約6分  
 → 中部国際空港より約10分  
 (セントレアライン「りんくうIC」降りる)  
 → 知多半島道路「半田IC」より約15分  
 → セントレアライン(名古屋方面から)  
 「常滑IC」より約7分

〒479-8586  
 愛知県常滑市奥栄町 1-130  
 TEL. 0569-34-8282  
 FAX. 0569-34-8283  
<http://www1.lixil.co.jp/ilm/>